

ホスピタルのピカリと光る
取り組みを追う

ホスピカ

医療を超えた街づくり

医療法人明倫会 宮地病院



法人外との連携により地域ケア会議を9年前から開催している

地域包括ケアの医療提供から 街づくりまでかかわる



宮地千尋理事長

医療法人明倫会宮地病院は、阪神・淡路大震災によって病院が全壊した際に、生活支援を含めた被災者への継続的な医療提供の不足を痛感した。これを受け医療の提供だけでなく、退院後の暮らしなど、院外の生活にもかかわる病院となるため「ホスピタウ构想」を掲げて、地域に必要なとされる病院づくりに挑んでいる。

震災での経験を経て 高齢者医療を中心に担う

1995年、阪神・淡路大震災によって当時の施設が全壊した医療法人明倫会宮地病院。震災後の高齢者への医療提供状況の凄惨さを目の当たりにし、寒空のもとで診療を再開して以降、高齢者医療を担ってきた。「地域における病院の役割は自院完結型ではなく地域での連携である」と考え、在宅療養支援病院として診療所のバックベツドの役割を果たしている。自院に不足している診療科を地域の病院・診療所と連携し補うため、毎月連

携会議を実施。その一環で、同法人の宮地千尋理事長は2018年から、宮地病院と法人内関連病院の本山リハビリテーション病院が協力して、地域に対して病院が街づくりまでかわっていくという決意として「ホスピタウ构想1・2」を掲げ、病院が主体となって行う街づくりを計画・実践している。

医療だけでなく 住むところも病院が支える

神戸市は人口減少が緩やかに進み、30年頃からは医療・介護需要も減少すると予測されている。こうしたなか、誰もが地域で暮らし続けられる環境づくりを軸としてホスピタウ构想を掲げている。宮地理事長は、「医療だけをやっていては地域を支えることはできません。住まいを含めて病院が地域を支えていく必要があります」と、プラン策定に至った経緯を語る。また、「特に認知症や障がい



持った方も尊厳を保って最後まで生活できるように心がけています」とポイントを挙げる。

ホスピタウン構想1は、医療から住まいまで「地域でその人らしく生きる」ことを支える。同構想2は、他業種とコラボし地域の課題解決を通して街づくりに参加する。

ホスピタウン構想1では具体的に、病院が医療のバックアップを行う小さな街づくりを目的としている。小さな街とは、病院、診療所、介護施設、住宅などが連携し、医療だけでなく保育や各種の在宅サービスなどを提供する体制を1つの街と考える。日本版CCRC構想のように大規模なものではなく小さな街に絞るのは、新規に計画する場合、都市部ではまとまった土地が不足しているので、既存施設を活かしての連携をめざす。

ホスピタウン構想2では法人外へより視点を広げ、地域の事業所や企業と共生社会を築き、地域活性化に向けてリーダーシップをとることで必要とされる病院であり続けることが目標。宮地理事長は、

「法人外の組織と協働することで共通の価値観を醸成するとともに、それぞれが得意分野を活かすことで高齢化に伴う課題解決に取り組みたいと思っています」と地域で協力を体制を整え、医療などの垣根を越えた体制づくりに意欲を示す。

地域活性化に向けた職員のアイデア実現

構想の理想形の1つに挙げるのが同法人のサービス付き高齢者向け住宅「潮騒の家」だ。共用部に複人数で利用できるキッチンを設置。介護必要度が高い入居者が多くキッチンの利用率が低いことに着目し、子ども食堂の運用や单身者男性向けの料理教室の開催など、コロナ禍が収束後の一般開放に向けて準備している。

これらの取り組みは、宮地理事長の掲げる重点課題を踏まえ、職員の提案から始まったものが多いという。宮地理事長は「時間をかけて提案を検討するのではなく、まずは提案をもとに行動しながら問題を解決していくことが多いです」と

組織風土を説明する。メリットとして、机上の空論よりも実践することにより大きな経験を得ることができるといふ。

他にも職員の意見により、法人外との連携では9年前から独自の地域ケア会議「お結びの会」を開催。自院の診療圏の患者を地域で支えるための連携の場となっている。

また、管理栄養士は地域の医療機関、ケアマネジャー等からの依頼で訪問栄養指導を神戸市でいち早く開始して「地域一体型NST」を展開。神戸市の東灘区医師会や多職種が連携し開催している「東灘区在宅NST研究会」の活動も実施している。認知症患者センターが主体となってWEB動画の公開や病院の管理栄養士がプロデュースする弁当の販売なども行っている。

今までに外部に向けて未病・予防をめざした多職種による出張健康講座・カフェの「ハッピー健康団」や、地域での講演会、夏祭り、病院祭、バザーなど各種イベントを行ってきた。また、ロビーを開放し、地域住民やボランティアの教室、

活動、作品展示、コンサートなどに活用してきた。

今後の展望として宮地理事長は、ホスピタウン構想2の本格化に向けた取り組みを挙げた。他業種と協力して、地域一体型NSTから高齢者く子どもの栄養問題の解決、地域の食育を進める。また、山リハビリテーション病院が中心となって他事業所と協力し遠隔リハビリの共同開発に取り組んでいる。

医療法人明倫会 宮地病院

住所 神戸市東灘区本山中町4-1-8
TEL 078-4511221
病床数 88床（一般病床44床、療養型病床44床）
診療科 11診療科
職員数 245人（法人全体1530人）。関連病院として山リハビリテーション病院（120床）・在宅部門

